

表1. 家下川、承水溝、長池(ひょうたん池)における水生生物調査結果一覧

和名	家下川	承水溝	長池	文献 <sup>※1※2</sup>
<b>1. 魚類</b>				
フナ類(ギンブナなど)	○	○	○	○
コイ	○	○	○	○
オイカワ	○	○	○	○
カワムツ	○	○		○
ウグイ	○			
タモロコ	○	○	○	○
モツゴ	○	○	○	○
コウライモロコ/スゴモロコ <sup>※3</sup>	○	○	○	○
カマツカ	○			
タイリクバラタナゴ		○		○
メダカ	○	○	○	○
カダヤシ	○	○	○	
ドジョウ	○	○		○
シマドジョウ	○			
スジシマドジョウ(小型種東海型)	○	○		
ウシヨシノボリ(トウカイヨシノボリ) <sup>※4</sup>	○			
ナマズ		○	○(目視)	○
ブルーギル	○	○	○	
<b>2. 甲殻類</b>				
ミナミヌマエビ	○	○	○	—
アメリカザリガニ	○	○	○(目視)	—
<b>3. 貝類(水生貝類のみ)</b>				
マルタニシ	○	○	○	—
サカマキガイ	○	○	○	—
<b>4. 昆虫類(水生昆虫のみ)</b>				
コヤマトンボ(ヤゴ)	○			—
ギンヤンマ(ヤゴ)		○		—
ギンヤンマ(成虫)			○(目視)	—
ハグロトンボ(ヤゴ)	○	○		—
ハグロトンボ(成虫)	○(目視)	○(目視)	○(目視)	—

※1 出典:梅村鎔二, 愛知の淡水魚類, 自費出版(1993)

※2 魚類調査結果のみが記載されている。甲殻類、貝類、昆虫類の文献データは存在していない。

※3 文献では全てスゴモロコと記載されているが、調査では主にコウライモロコを捕獲。スゴモロコらしき個体も捕獲することができたが、同定が難しいため双方を同じ欄に記載した。

※4 最近、新種として登録されたため、文献出版時には認知されていない。